News Release

2026 年 11 月 13 日
株式会社コア
株式会社ラムダシステムズ

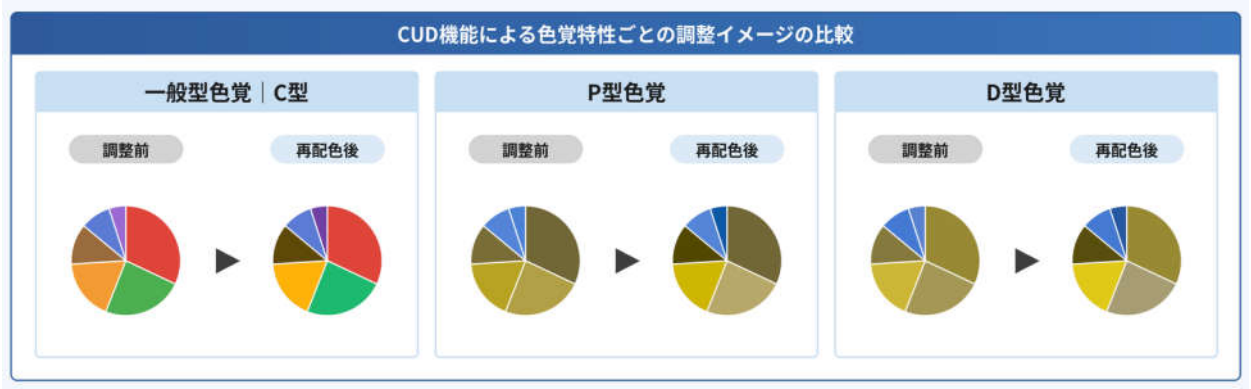
Adobe®Photoshop®プラグイン「CUD & Accessibility Suite」販売開始について

～カラーユニバーサルデザインとアクセシビリティの確認・調整を支援～

株式会社コア（本社：東京都世田谷区、代表取締役 社長執行役員：横山　浩二、以下 当社）は、当社の連結子会社である株式会社ラムダシステムズ（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：田村　謙太郎、以下 ラムダシステムズ）が、カラーユニバーサルデザイン（CUD）の考え方を取り入れ、視覚的なアクセシビリティの向上を支援する Adobe Photoshop プラグイン「CUD & Accessibility Suite」を、2026 年 10 月 29 日より Adobe Creative Cloud マーケットプレイスにて販売開始したことをお知らせいたします。

本製品は、特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構（CUDO）の「CUD 普及推進ツール検証」に合格しています（第 2377 号）。

■自動配色調整の例（グラフの配色）



※P 型・D 型は、CUDO の色覚の分類に基づく呼称です。画像はシミュレーションによる見え方の例です。

■開発の経緯

色の感じ方（色覚）は人によって異なります。CUDO は色覚を C・P・D・T・A の 5 つのタイプに分類しており、日本では男性の約 20 人に 1 人、女性の約 500 人に 1 人、全体で 300 万人以上が P 型・D 型の色覚といわれています。

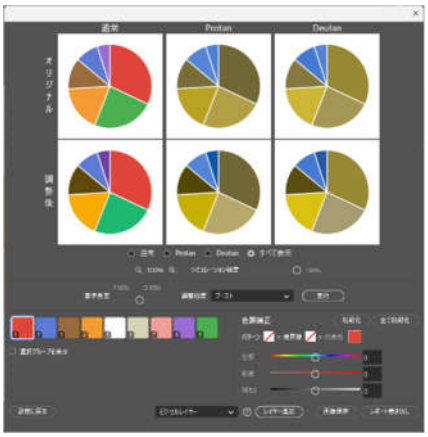
また、2024 年 4 月には改正障害者差別解消法の施行により、事業者による合理的配慮の提供が義務化されるなど、アクセシビリティへの関心が高まっています。国際的にも、WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）を基準とした取り組みが広がり、色づかいやコントラストへの配慮は、デザインの品質そのものとして求められています。

一方、デザイン制作の現場では、色覚による見え方の確認やコントラスト比の検査を、目視や複数のツールを使い分けて行う必要があり、制作者の負担となっていました。ラムダシステムズは 1984 年の創業以来、放送用テロップシステムの開発で培ってきた、見やすく正確に伝わる文字と色の表現のノウハウを生かし、Adobe Photoshop の中で配色の確認から調整までを一貫して行える本製品を開発いたしました。

■製品の特長

（1）3 つの機能を 1 つのプラグインに

色覚の多様性に配慮した配色を支援する「CUD 機能」、WCAG の基準に基づいてコントラストを検査する「A11Y（アクセシビリティ）機能」、色の情報を言葉と数値で共有する「D&I（ダイバーシティ＆インクルージョン）機能」の 3 つを、1 つのプラグインにまとめました。いずれも Photoshop 内のパネルから操作できます。



CUD 機能（自動配色調整）



A11Y 機能（コントラストチェッカー）



D&I 機能（カラートランスレーター）

（2）デザインの印象を保ったまま、配色を自動で調整

CUD 機能では、P 型・D 型・T 型・A 型の色覚での見え方をシミュレーションで確認できます。自動配色調整では、P 型・D 型の色覚で区別しにくい色の組み合わせを検出し、元のデザインの印象を保ちながら、区別しやすい配色に整えます。色だけに頼らずに情報を伝えるためのハッチング（パターン）の追加や、確認結果をまとめた総合レポート（PDF）の出力にも対応しています。自動配色調整のエンジンについては、3 件の特許を出願中です。

（3）WCAG 2.2 の基準に基づくコントラスト比のチェック

A11Y 機能では、文字と背景のコントラスト比を WCAG 2.2 の基準に照らしてチェックし、基準を満たさない項目を一覧で表示します。基準を満たさない項目の自動修正や、OKLCH 色空間を用いたライブプレビューでの微調整、総合レポート（PDF）の出力にも対応しています。

（4）色を「言葉」で共有できるカラートランスレーター

D&I 機能では、選択した色を自然言語の色名（日本語・英語・中国語・スペイン語の 4 言語）で表示するほか、HEX・RGB・CMYK など 25 項目の色情報を一覧で確認できます。色の指示を色名と数値で伝えることで、色覚の違いや言語の壁を越えて、チームで色を正確に共有できます。

（5）第三者機関による検証に合格

本製品は、色覚の多様性の当事者を含む CUDO の専門家による「CUD 普及推進ツール検証」に合格しています（第 2377 号、2026 年 7 月 28 日）。放送・出版・自治体など、カラーユニバーサルデザインが求められる現場で、安心してお使いいただけます。

（6）画像データを外部に送信しない安心設計

画像の解析や配色の調整はすべてお客様のコンピュータ上で行われ、画像データが外部へ送信されることはありません。機密性の高い制作物にも安心してご利用いただけます。

■販売開始日、販売価格、動作環境

販売開始日	2026 年 10 月 29 日
販売形態	年額サブスクリプション（Adobe Creative Cloud マーケットプレイスにて販売）
価格	年額 60 米ドル ※税・付加価値税（VAT）が別途加算される場合があります。
動作環境	Adobe Photoshop 2025（バージョン 26.0）以降のデスクトップ版 ※Windows 11 の arm64 版は対象外です。
製品サイト	https://d2v4en41g2sqcj.cloudfront.net/
販売ページ	https://exchange.adobe.com/apps/cc/00f8282e

■Inter BEE 2026 への出展について

会期：2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金）
会場：幕張メッセ　国際展示場　ホール 8／小間番号 8226

※Adobe および Adobe Photoshop は、米国およびその他の国における Adobe の商標または登録商標です。また、本製品は Adobe が提供・推奨するものではありません。
※記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

■株式会社コアについて

株式会社コアは、「ソリューションプラットフォーマー」として、ICT を通じて社会や産業の課題解決に取り組んでいます。企画・設計から開発、運用・保守までを一貫して提供する技術力を強みに、お客様のビジネスモデルの進化を支え、持続可能な価値の創出に貢献しています。https://www.core.co.jp/

■株式会社ラムダシステムズについて

電子テロップシステムのパイオニアとして、1984 年に創業。ハードウェア・ソフトウェア一貫開発を強みに事業を推進。高品質で使いやすい製品に加え、斬新かつ柔軟なカスタマイズ対応と万全のサポートで、常にお客様の一番近くで、確かな信頼性をもってニーズにお応えし続けております。https://www.lambda.co.jp/

■投資家の皆様へ

本プレスリリースは、当社の定性的な業務進捗をお知らせするためのものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の業績・経営指標の進捗・予想に関しては、決算短信等をご参照ください。

お問い合わせ先

■本製品に関するお問い合わせ先

株式会社ラムダシステムズ　TEL：03-5787-3366　E-Mail：salesd-ml@lambda.co.jp

■報道関係に関するお問い合わせ先

株式会社コア 経営推進室　TEL：03-3795-5111　E-Mail：coo-office@core.co.jp